



	低学年	中学年	高学年
	※持ち物には、学年・組・名前を書き、大切に扱う。		
筆箱の中	○箱形のシンプルなものを使う。(芯がつぶれず、揃えやすいため。) ○鉛筆のBか2B (4～5本)、赤青鉛筆 (1本) 白い消しゴム (1こ) ネームペン 定規 ※毎日、家で削ってくる。		
ノートの準備と扱い方	○指定されたノートを使用し、必ず下敷きを敷く。 ○残り10ページくらいになったら、新しい物を用意する。		
各教科用具の準備 ①道具箱	○のり (カップのりと液体のり)、はさみ、色鉛筆、 クレパス、折り紙、算数ブロック +学年で使う物	○のり (液体かスティック)、はさみ、色鉛筆、マスク +学年で使う物	
※帰りにロッカーに戻し、机の中は、空にする。必要のない物は持ち帰る。			
②算数 		○三角定規、コンパス、 分度器、はさみ、のり、 ※3年生以上は、給食袋程度の大きさの袋を用意し、算数袋としてこれらを入れる。	
③音楽 	○音楽ファイル、鍵盤ハーモニカ	○教科書、音楽ファイル、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、筆箱 ※音楽袋 (A4ファイルが横に入る形の物) に入れる。 ↳鍵盤ハーモニカ以外を入れる。	
④図工 	○絵の具 +場合に応じて、必要な物 ※使用後は持ち帰って洗う。 ※粘土は学校保管(3年でも使用。)	○教科書、はさみ、のり、筆箱 軍手、木工用ボンド +場合に応じて、必要な物 ※図工袋に入れる ※絵の具パレットは、図工室で洗う。	はさみ・のり・筆箱は、 各教科共有とする。 ※専科の授業後は道具箱にもどす。
⑤習字 		○習字道具、新聞紙 (ある家庭)、習字用雑巾、ビニール袋 ※筆も硯に残った墨も、使用した半紙で拭き取り、ビニール袋に入れて持ち帰る。学校では洗わない。	
⑥家庭科 		教科書、筆記用具 +場合に応じて、必要な物	
忘れ物をしたとき	○必ず、先生に伝えて、指示を受ける。 ○ノートを忘れたときは、マスのあるプリントに記入し、ノートに貼る。他教科と共用しない。		

も 持って こない物	○学習^{がくしゅう}に関係^{かんけい}のないもの。 ○シャープペンシル、ネームペン以外^{いがい}の色ペン^{いろ}、鉛筆^のキャップ、伸びる定規^{じょうぎ}、鉛筆削り^{えんぴつけず}、消すこと^けができる色鉛筆^{いろえんぴつ}。 ○カチューシャや髪飾^{かみかざ}り、ミサンガは、つけません。(女子^{じょし}の髪飾^{かみかざ}りは、安全面^{あんぜんめん}を考え^{かんが}シンプルなゴムだけの物^{もの}が望^{のぞ}ましい。) ○肩掛け^{かたか}のポシェットは、危^{あぶ}ないので持^もってこ^もないようにしてください。 ※学用品^{がくようひん}、文房具^{ぶんぼうぐ}、ノート類^{るい}は、<u>シンプル^{もの}な物^{もの}</u>で、文具メーカー^{ぶんぐ}の物^{もの}を使^{つか}います。 キャラクターものや装飾^{そうしよく}、おもちゃ付^つきのものなどは、使^{つか}いません。 <u>道具^{どうぐ}をむやみに新調^{しんちよう}せず、大切^{たいせつ}に使^{つか}います。</u>
---------------------------------------	---

◆集団登校^{しゅうだんとうこう}

- ・校帽^{こうぼう}をかぶりましょう。
- ・当番^{とうばん}の保護者^{ほごしや}やシルバーさんに、自分^{じぶん}からすすんで挨拶^{あいさつ}をしましょう。
- ・決められた時^きこくに集^じ合場所^{しゅうごうばしよ}に集^{あつ}まりましょう。
- ・登校^{とうこう}の途中^{とちゆう}で忘れ物^{わすれもの}に気付^{きづ}いても、取^とりに帰^{かえ}らないようにしましょう。

◆授業^{じゅぎょう}

- ・元気^{げんき}よくあいさつや返事^{へんじ}をしましょう。
- ・学^{がく}習^{しゅう}用具^{ようぐ}の準備^{じゅんび}をしてから休^{やす}み時間^{じかん}をとりましょう。
- ・先生^{せんせい}や友達^{ともだち}の話^{はなし}は、最後^{さいご}まで静^{しず}かに聞^ききましょう。
- ・人^{ひと}の話^{はなし}は肯定^{こうてい}的に聞^きき、聞^きいていることが分^わかるように態^{たい}度^どで示^{しめ}しましょう。
- ・体育^{たいいく}の授^{じゅ}業^{ぎょう}以外^{いがい}で教室^{きやうしつ}を移動^{いどう}するときには、防災頭巾^{ぼうさいずきん}を持^もってい^もくようにしましょう。

◆水筒^{すいとう}の扱^{あつか}いについて

- ・教室^{きやうしつ}内^{ない}の決められた場所^{ばしよ}に置^おくようにしましょう。
- ・休^{やす}み時間^{じかん}など、決められた時間^{きかん}に水分補給^{すいぶんほきゅう}をするようにしましょう。

◆5分休^{ふんやす}み

- ・次^{つぎ}の時間^{じかん}の学^{がく}習^{しゅう}の準備^{じゅんび}をしましょう。
- ・トイレを済^すませましょう。

◆給食^{きゅうしょく}

- ・給食^{きゅうしょく}の前^{まえ}には、せっけんで手^てを洗^{あら}いましょう。
- ・配膳^{はいぜん}が始^{はじ}まったら、だまって自分^{じぶん}の席^{せき}で待^{まち}ちましょう。

◆掃除^{そうじ}

- ・掃除^{そうじ}をした後^{あと}に手洗^{てあら}いをしましょう。
- ・掃除時間^{そうじじかん}の中^{なか}で、だまって短時間^{たんじかん}で掃除^{そうじ}をしましょう。
- ・掃除用具^{そうじようぐ}を大切^{たいせつ}にあつかい、後^{あと}かたづけをきちんとしましょう。
- ・机拭^{つくえふ}き用^{よう}の雑巾^{ぞうきん}は、自分^{じぶん}の椅子^{いす}に洗濯^{せんたく}ばさみでとめましょう。

◆保健^{ほけん}

- ・ハンカチ、ティッシュはいつも身^みに付^つけましょう。
- ・外遊^{そとあそ}び・そうじ・トイレ・体育^{たいいく}の後^{あと}は必^{かな}ず洗^{あら}いましょう。
- ・手足^{てあし}のつめは、短^{みじか}く切^きりましょう。
- ・必要^{ひつよう}に応^おじて、マスクを着用^{ちやくよう}しましょう。予備^{よび}のマスクも用意^{ようい}しておきましょう。(ランドセル、防災頭巾^{ぼうさいずきん})

◆地震や火災が起きた時

- ・口を閉じて、先生の話を放送をしっかりと聞きましょう。
- ・「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」を守りましょう。
- ・防災頭巾の内側ポケットに口を押さえるハンカチやマスクを入れておきましょう。
- ・登下校時に地震があった場合は、自分で考えて安全な所に行きましょう。

◆下校

- ・下校時刻を守り、寄り道をせずに帰るようにしましょう。
- ・必ず通学路を通して帰りましょう。
- ・忘れ物を取りに来るときには家の人と一しょに来ましょう。施設管理員の方に用件を伝え、保護者と一しょに校舎内に入りましょう。

◆家へ帰ってから

- ・家の人に行き先を伝え、防犯ブザーを持って出かけましょう。
- ・道路で遊ぶのはやめましょう。
- ・お金や食べ物を持って遊びに行くのはやめましょう。
- ・知らない人について行かないようにしましょう。
- ・公園などで、一人で遊ばないようにしましょう。
- ・「夕べの音楽」が鳴ったら、すぐに家に帰りましょう。
- ・いざというときには、「ひまわり110番」を利用しましょう。

◆校庭開放遊び

- ・とよたま広場に入っていない人は、一度家に帰ってから遊ぶことができます。
- ・遊び道具は、校庭開放用の物をていねいに使い、終わったらもとの場所にきちんと戻しましょう。
- ・指導員の方の指示や注意をよく聞き、けがや困ったことがあったら、指導員の方に相談しましょう。
- ・食べ物を持ってきてはいけません。
- ・自転車であててはいけません。

◆とよたま広場（ねりっこクラブ）

- ・下校の用意をして、とよたま広場室に行きます。
- ・受付をすませて、ランドセルはとよたま広場室に置きます。
- ・下ばきは、校庭を通してとよたま広場の靴箱に入れます。
- ・広場が終わり下校する時は、校庭を通して上ばきを自分の靴箱にもどします。
- ・校舎内では、広場室以外の教室には入りません。
- ・忘れ物は、広場や学童のスタッフと一緒に取りに行きましょう。

◆その他

- ・遅刻、早退をする時には、必ず家の人に教室まで付き添ってもらいましょう。
- ・登下校の時は、防犯ブザーを身に付けましょう。
- ・置きがさをする場合は、おりたたみかさを教室で保管します。
- ・上ばきは、週末に持ち帰り、洗って週始めに持ってきます。
- ・ランドセルの横には、キーホルダーなどの飾りや荷物をかけないようにしましょう。

◆タブレットの^{りよう}利用について

- ・タブレットは、練馬区から借りているものです。大切に使いましょう。
- ・自分が借りているタブレットを使います。友達に貸したり、借りたりしてはいけません。
- ・学校では、先生の指示に従い、学習のために使います。ゲームや動画視聴など、学習以外のことに絶対に使ってははいけません。
- ・使わないときには、決められた場所にしまって保管します。
- ・アカウントやパスワードは、家族以外の人に教えないようにしましょう。
- ・タブレットが故障したときは、お家の人から先生に申請書を提出してもらいましょう。

とよたましょうがっこうエスエヌエス 豊玉小学校 SNSルール

1 自分を守る

- ①スマホやゲームの利用時間を家族と決めよう。
- ②自分の写真や個人情報^{こじんじょうほう}をのせないようにしよう。
- ③SNS等で困ったことがあったら大人に相談しよう。



2 相手を守る

- ④他の人の写真や個人情報^{こじんじょうほう}をのせないようにしよう。
- ⑤相手の気持ちを^{かんが}えて、見た人が不快に感じたり傷ついたりする内容ではないか、確かめよう。
- ⑥相手の都合を^{かんが}えて、送信時刻や送信回数に気を付けよう。

3 家族を守る（保護者の方へのお願い）

- ⑦インターネット等の危険性について話し合ってください。
- ⑧インターネットにつながるすべての電子機器に、フィルタリングやセキュリティソフトを付けるようにしてください。
- ⑨子どもの利用状況をしっかりと把握し、保護者が責任をもって管理してください。